

## 髭Archerの想うこと NO1----はじめに----

追記)2024/12月

50歳になった2001年から書きつづったアーチェリー雑感が、2006年で途絶えていましたが、最近になってまだ伝えたい事がいろいろと思い浮かび、パソコンに向かうことにしました。

SAC Home-pageに当時の内容を再掲載して頂く事になりました。

NO1からNO7は、20数年前に書いたものですが、今読み返してみても 充分皆さんの参考になると思います。

内容は、技術論中心に、髭アーチャーの独断と偏見に満ちたもので気楽に読んでもらえれば幸いです。新たにNO8を作成中ですが、出来次第公開します。

参考)技術用語など 引用参考書籍

「アーチェリー教本」(社)全日本アーチェリー連盟 編

では、楽しい(苦しい?! )アーチェリーの世界へ

PS)作成当時の試合ルールが古い点があればご容赦!

\*\*\*\*\*

SACの皆さんへ!

…まえがき…

ほとんど上井草の練習に参加していない、幽霊部員の「ひげの kawano」です。

1969年(昭和44年)からArcheryを続けてきて、知識と経験だけは有ると勝手に思っている私がSACの皆さんに出来る事は

→→→→Archery技術論・精神論・練習論などを知ってもらおう事だと思い、筆をとりました(パソコンに向かいました)。

もちろん、雑誌「Archery」などには載っていない、私の独断と偏見に満ちたものになっていく?? かもしれません。

みなさんのご意見、反論、質問は大歓迎ですので、どしどしどうぞ!!!

では、新しい21世紀に第1回スタート →→→→→→

あっ---!

題名は、とりあえず「髭Archerの想う事」です。気が変わったら変えるかも!

弓に対する熱い想い

・当時の弓具(弓を始めた頃)

九州での学生アーチェリーの始まりは昭和30年代の後半頃である。

私がアーチェリーを始めた昭和44年(1969年=まだビートルズが現役でギターに狂っていた頃)は、知名度が低く「アーチェリーって何?」と言われる時代だった。

弓を扱っている店も殆ど無く、ただ1軒の和弓店で扱っているYamahaの弓を購

入した後、自分で最適な仕様を考え、試行錯誤で試作改良し、チューニングして自分の弓に仕立て上げてゆく事が必要だった。

言い方を変えれば買ったままではそれなりにしか当たらない。

それはそれで当たり前で、何にも装備がついてないし、装備自体売ってもないのだから---

自分で考案したり改良して作るしかなかった。（これが楽しかった！）

木製のウインドウは自分で削ってセンターショットに改造し、時計のぜんまいをばらしてクリッカーを作り、釣具店から買って来た鉛板をビニールテープで色々貼ってみて弓の重量とバランスを調整し、スビライザーは金物店から買って来たスチールパイプを切ってボルトの裾を埋め込んだものをサイズや重さを変えて何本もつくり、最適なものを試行錯誤した。

すぐ欠けてしまう当時のプラスチック羽根は、逆に自分で色々な羽根のピッチやサイズを試して見れるし、欠けたまま使用すると、どのくらいずれるのか分かる、まさにArrowの精度が勉強できる良い？羽根だった。

でも、30年以上前のこんな弓でも、50-30mで600点以上出す事が出来たのです。（すなわち昔のArcheryとは、練習し技量を上げるのと同時に弓具の改良をセットにしたスポーツでした。道具が進歩した現在でもそう有るべきだと考えています。）

髭Archerが、最新鋭の弓に拘らないのもこんな持論があるからです。

すなわち、

得点力を左右するパラメーターは3つ存在します。

**F (得点力) = f (人、弓具、天候)**

人 = f (シューティング技術、体力面、精神面)

弓具 = f (構成パーツ全てのチューニング技術、サイトチューニング技術)

天候 = f (風、雨、太陽、他)

この中で一番重要なのは「人」、その次が「弓具」と考えています。

#### ・YAMAHAの弓の変遷

B, C, YC, YD, YE, YF, YG, YTD, YSL, YTSL, --- などなど

最近アーチェリーを始めた人達は、ある意味では恵まれていると思います。装備は全て購入時点で揃っているし、仕様も色々なバリエーションから選択することが可能。（ただ選択すればよいのだから）。逆に、2つの弊害も出ているように感じています。

**その1** --- 全ての装備が購入時点で準備されているのは良いが、はたしてその人にとって最適な選択が出来ているかは疑問。標準的な仕様の組み合わせを購入しているだけに終わっているかもしれない？もっと自分に適した最適仕様があるかもしれない。ましてや、買った時についているものをそのままのセッティングで使い続けるのはもっての外！ どれをどういじるとどんな影響が出るのかどんどんトライしてみるべきです。

その2 ---弓具は高価であり何度も買い換えられるものではない為、おのずと中・上級用を購入。現在の中・上級用の弓具は、標準的な装備の組み合わせで人為的なミスをかゝる能力は昔とは比較できないほど格段に進歩しています。換言すれば人為的なミスをかゝる能力が高いが故に、向上させていくべき技術（チューニングも含む）や、自分の犯したミスに気付きにくい点があるかもしれませんよ。

つづく

今回の話は、これから進めていく導入部分です。

ベースとなるこの考えに基づいて、次回からはもっと突っ込んだ髭Archerの持論を展開していきます。

中級レベル以上のArcherを想定して書いていきますので、初心者の方で内容についてこれない人がいたら、上井草で廻りの人に聞くなりしてついてきて下さい。

予告；次回の内容は「練習とは？」について持論を展開します。

もちろんRequestがあれば、そちらを優先します。

2001年1月記：

SAC 河野雅洋 (^0\_0^)

\*\*\*\*\*